

4431 **日本縦断の旅：酸ヶ湯・十和田湖** 109-2

酸ヶ湯は、特に冬の積雪は半端でない。「かんじき」が展示されてあった。
雪の上を普通の靴で歩くと、踏み固めていない雪の上は、足を取られて思うように歩けない。

「かんじき」は、体重を分散されることで、雪の上を歩きやすくする履き物。

そして、今ひとつ、**棟方志功**の作品が展示。特別な思いがある。

アトリエ久楽には、毎年、棟方志功作品のカレンダーを飾っている。その顛末は後日。

一風呂後、外を見ても、お天気は、なかなか、スッキリとは行かない。

しかし、これもまた一興。私の好きな光景。



今回は、あきらめた方が良さそう。青森まで戻る予定。
しかし、せっかくの機会である。十和田八幡平国立公園、十和田湖も遠くない。
車であり、駄目でもともと、夜道に日は暮れないと十和田湖へ。
相変わらずの道草、画像記録。静寂の中に、身を置いていると、癒される。
空気も美味しい。五感が喜ぶひととき。雨ではないが、泣いたと思うと、すぐ、笑う。
瞬きを、どう捉^{とら}えるか。自然との真剣勝負は、至福の時間。

